

原町7・原町8・上原10町内 町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成28年5月27日（金） 午後6時30分～8時30分

2. 対象地区・団体

原町7・原町8・上原10町内

3. 代表者名

池田清志 7町内自治区長、新澤光男 8町内自治区長、橋谷田裕治 10町内自治区長
参加者計25人

4. 開催会場

交流物産館よりっせ 研修交流室

5. 町出席者

町長 伊藤 勝、副町長 伊藤要一郎、企画情報課長 大竹 享、建設水道課長 成田信幸、健康福祉課長 渡部英樹、町民税務課長補佐 野原竹夫、企画情報課情報政策係長 佐藤泰久、企画情報課主査 武藤洋一

6. 代表自治区長あいさつ 池田清志 7町内自治区長

皆さん町政懇談会にお集まりいただきありがとうございます。日ごろ困っているようなことがありましたら、今日は、伊藤町長はじめ、副町長、担当課長がお見えですので、遠慮なく相談などしていただきたいと思います。そして有意義な懇談会となりますようご協力をお願いします。

7. 町長あいさつ及び町政方針説明

平成28年度の町政方針、町の地方創生の取り組み、重点事業について伊藤町長が説明。

内容は、人口減少・地域活性化対策の地方創生では、資源を活かして仕事を創るため、きのこ大規模産地化の推進や木質バイオマス生産施設整備計画の策定に取り組むこと、また、子育て環境充実のため、今年度、認定こども園を整備すること、交流人口の拡大では、現在、道の駅にしあいつ内に整備中で8月2日にオープンする地域連携販売力強化施設について、さらに野沢まちなか活性化に向けて実施している野沢駅通り公園と原町ポケットパーク整備の概要などについて説明。

8. 事業説明

町内の雪処理対策について及び[仮称]野沢駅通り公園等について、資料1、資料2により大竹企画情報課長が説明。続いて、ゴミの出し方の変更点について、資料により野原町民税務課長補佐が説明。

9. 地域課題等について

3自治区から事前に提出された地域課題等に対して、それぞれ担当課長より回答。道路の補修及び改良、流雪溝、除雪、町営住宅関係は、成田建設水道課長が、空き家、高齢者宅の除排雪については、渡部健康福祉課長が、避難場所、ゴミ収集関係については、野原町民税務課長補佐が回答。

10. 意見交換等

[質問等]

にしあいつ花見山の名称について、山というよりも丘であり、規模も小さいため、現状に合った名称に変えることはできないでしょうか。

[町]

にしあいつ花見山は、もともと雑木林でしたが木が枯れてきたため、しっかり整備しなければならないという発想のもと、一部を残して伐採し、そして、規模は違いますが福島市の花見山のように花を植えようということで始まったものです。まだ、咲きそろうまでに至っていませんが、こうした経緯でボランティアの協力もいただきながら整備してきました。名称は、公募したわけでもなく、また行政側で一方的に決めたわけでもありません。福島市の花見山のようなイメージにしたいということで、皆さんが、にしあいつ花見山という名称、通称で呼び合っていて植栽を行ってきたもので、今もそう呼んでいます。今後、花木が咲きそろい、美しい環境に変わっていく中で、町民の皆さんから名称を変更してこの場所にこういう思いを寄せていったらいいのではといったようなご意見があれば、変えていいのではないかと思います。

[質問等]

いま国では、観光誘客によって地域活性化を図っていかうと力を入れています。西会津町には飯豊山の登山口がありますので、弥平四郎登山口までバスが行けるかどうか分かりませんが、夏場に弥平四郎集落まで運行しているバスを登山口まで運行したり、また、駅で登山口があることをもっと宣伝したりすれば、登山者が増えるのではないのでしょうか。

それから、国道49号の藤峠について、トンネル化に改良されるという話を聞きますが、何年ごろに完成する予定なのでしょうか。

[町]

飯豊山や鏡山には、全国各地から多くの登山客が訪れます。飯豊山、鏡山の登山道については毎年整備を行っているところで、雨により崩れた箇所についても復旧工事を行っていますが、危険箇所は一定程度の通行規制を行い、西会津山の会、にしあいつ観光交流協会と連携し対応しています。幅員が狭く、どうしても車両が通れない場所からは、歩いてもらっているところです。ご提案のあった駅での登山口の宣伝については、弥平四郎登山口の認知度を高めるための方法の一つとして検討していきたいと思います。

国道49号については、国の会津防災事業により、縄沢集落から会津坂下方面に少し向かったところから、トンネル化され、現在の藤トンネルの手前の橋のあたりが出口となる計画です。町では平成22年12月の300台の立ち往生を受けて、藤峠の勾配を緩やかにしてほしいと要望活動を行ってきました。その結果、早期に改良する方法として国から示されたのが、この国直轄の会津防災事業です。現在、用地の調査が行われているところで、その調査結果を基に今後のスケジュールが示される予定です。それから現在の藤トンネルの区間の将来的な改良については、今後、国に対して要望していきたいと思います。

[質問等]

新しい西会津小学校に通学するため、子どもたちが登校する時刻が以前よりも早まったため、実態に合わせて通学路の一方通行規制時間の変更をお願いしたい。区間は丸井呉服店の前から町役場と、ヒノヤ前から町役場までの道路です。

[町]

質問等のあった一方通行の規制については、小学校が森野に移転したため、交通安全関係

団体や自治区長の皆さんと協議し、ヒノヤ前、野沢保育所前、旧野沢小周辺の区域の時間による交通規制そのものを解除する方向で進めており、喜多方警察署に書類を提出し、公安委員会に提案してもらうことにしています。現在、安全対策のため通学路へのライン引きや、看板設置といった作業を進めているところです。

[質問等]

自治区内の昔からの公衆用道路、いわゆる赤道は町管理になっているのか。赤道に関してはどこに相談すればいいのでしょうか。

[町]

総務課財政係で管理していますので、個人的な個別案件については総務課に相談いただければと思います。

[質問等]

土地境界の関係で個人同士のトラブルも多いようです。野沢地区で、なぜ国土調査を実施しないのでしょうか。

[町]

国土調査は実際に着手してから完了するまで何十年もかかる事業です。現在、上野尻地区で実施しており、着手から10年以上が経ち、完了まではまだまだ年数がかかる見通しです。こうした状況から野沢地区については、着手するかどうかも含めて今後検討していく考えです。道路などの土地に関する個別の案件については、別途、町に相談いただければと思います。

[質問等]

他市町村では運動公園内の遊具が無料で利用できます。西会津町ではフィールドアスレチックが有料です。また、遊具等の規模が以前より小さくなっていますが料金が変わっていません。どうして遊具が小さくなってしまったのでしょうか。

[町]

フィールドアスレチック施設は、オープンした当時から有料であり、現在もそのまま継続して運営しているところです。

遊具については、傷んできたため計画的に修繕してきましたが、毎年の修繕費用を考慮し、外国産の材料を使った従来のものから、国産材の新しい遊具に切替え更新したことにより規模が小さくなりました。ご意見がありましたように、料金をいただくのであれば、その料金に見合ったバラエティに富んだ遊具に充実するといったように今後検討していきたいと思います。

[質問等]

町内のことに関して、必ず自治区長を通して連絡をもらいたいといわれるが、個人として町に相談、提案することはできないのでしょうか。

[町]

すべて自治区長を通してもらうということにはしていません。町では、「町長へのおたより」という制度を設けており、電子メールなどによる個人からの提案、意見を受け付けています。

自治区長を通してもらうということは、地域の課題について意見をいただく場合、その地域の責任者である自治区長さんが分かっていたほうがいいわけで、地域の課題として取り上げてもらうという観点から、自治区長を通してもらうようお願いしたものであると思います。